



NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク News



夢コミ通信ぱぴ

2010
1月号

夢へのステップ 2010

夢をかなえるNPOとして!

2000年5月に任意団体としてスタートした夢・コミュニティ・ネットワークは今年で10周年を迎えます。(法人化は05年3月)

活動のきっかけは、「元気創造講座 女たちの夢おこし」の企画運営でした。その後、活動をすすめるにつれ、自分の暮らす地域に仲間がいることが、それぞれの「元気の源」となると確信しました。

そして、「仲間づくり」をキーワードに活動を広げてきました。

人と人とのつながりを大切にし、それぞれの夢を応援しあえる仲間と出会う“きっかけ”と“つながりづくり”を担う地域のコーディネーターが、私たち夢コミネットの役割だと感じています。

小さな団体の小さな活動ですが、熱い思いを胸に、創意を重ね「初心貫徹」していきたいと思えます。

今後とも、活動への応援をよろしくお願いいたします。

1. 100の思いより、まず行動
2. 夢達成のスケジュールをたてる
3. 夢を言葉にして、みんなに話す
4. 家族を夢の応援団長に任命する
5. 迷ったらGO!
6. すべてが夢に続く道と信じる
7. 自分を大好きになる
8. 変わることを怖れない
9. 元気である
10. 夢がかなった自分を思い描く



地域元気づくり拠点「夢たま」

地域の仲間としてつながることから、元気が広がる

「夢たま」は、地域のいろいろな施設や人たちと、地域の仲間として、地域の「やりたいこと」や「夢」を一緒に考え、共に実現に向けて取り組むことで、地域に元気を広げています。具体例を一部ご紹介します。

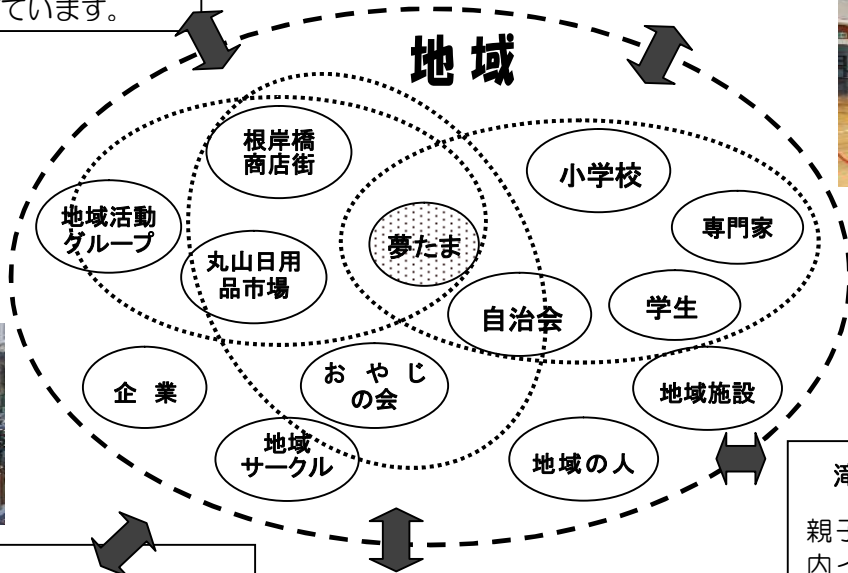
根岸橋商店街

商店街主催の「街角コンサート」や「餅つき」などのイベントのときはお手伝いや企画をジョイントしています。また、「夢たま」主催のハンドメイドフェアや商店さんからお菓子をもらうハロウィン企画などは、商店街の通りを利用させてもらったり、子ども達の見守りを担ってもらったりと、一緒にイベントを盛り上げています。



滝頭小学校

地元の滝頭小学校とは、ビデオを使っただけのコミュニティを考える企画から、つながりが始まりました。研究授業に参加したり、先生方と発表会に出たり、イベントでは体育館をお借りしたりしています。顔なじみになり、学級だより「夢たま」の名前が載ることもあります。



なかよし♪ドレミっ子

地域で未就園児と保護者の音楽広場として活動している「なかよし♪ドレミっ子」。今回、赤ちゃんからお年寄りまで地域みんなで音楽を通して楽しいひと時を過ごしたい！生の吹奏楽団の迫力を地域に！との思いを、「夢たま」でコーディネートし

ました。老人会や地域の子育てママ、地元商店街のほか、「たきがしら会館」の協力も得て、2月に開催します。



滝小おやじの会

滝頭小学校のおやじの会のは、イベントでのジョイントを続けています。おやじたちが威勢よく「大当たり！」と声をあげる「ルーレットゲーム」は元気百倍の楽しさ。出店は、お鍋を持って地元主婦が駆け付ける「名物」にもなっています。



滝頭地域ケアプラザ

親子向けの大人数の室内イベントや講座開催の際、共催として施設をお借りし、広報の協力もお願いしています。施設からは、小学生に来てもらえる企画をというリクエストがあり、「夢たま」スタッフが一緒にイベントを企画していきます。



地域元気づくり連合会：滝頭地区連合町内会、根岸橋通り商和会、丸山日用品市場、滝小おやじの会、夢コミネットは「地域元気づくり連合会」のメンバーとして、地域の元気づくりをすすめています。「夢たま」はその「交流拠点」として、地域とのつながりを大切にし、イベントや講座では地域の自主的な活動をサポートしています。

【報告と今後】 青少年自立支援ボランティア育成講座

横浜市教育委員会委託事業による標記講座を、都筑区にて全6回開催しました。地域にできる若者・青少年支援が求められていることを、改めて感じる講座でした。大切なのは「若者や青少年としっかり向き合う」こと。受講者たちの意識の高さから、今後の支援に希望を感じました。夢コミの役割は、現場で応援活動をしつつ、地域による若者・青少年支援をつなげ盛り上げていくことだと考えます。(担当/田中亮太)



若者自立の現状と背景

NEWVERY 理事長 山本繁さん

中退者の多くがニート・フリーターになるため、中退予防が必要。**離学直後にフリーターだった者がその後、正社員になれる確率は26%**

中退に至る理由：人間関係、基礎学力の低下、学習意欲の低下、不本意入学。ここまでで約8割。その他、精神疾患、既往症、妊娠・出産、経済的理由(表向き理由の場合がある)。大学の中退率もさまざま(神奈川県内の大学でも18%から3%)。「不本意入学者」が多いことを把握している大学では、中退を予防するための対策をとっているため、中退率が他と比べて低いという例がある。早期発見が重要。



ニート・フリーターになってからでは遅い!

「気づき」の支援とは?

(財)青少年育成協会 大槻繁美さん

子どもは大人を見ている。そして大人の真似をする。自分のしたことを他者がどう思うかを考えることが大事。人は理屈じゃなく気持ちで動く。



知識は大切だがそれだけに頼らず、相手のことをわかってもらう意識を。

相談の現場から～自立を目指す若者たちとその親遊悠楽舎代表 明石紀久男さん

- ・ 家族を孤立させない、本人を孤立させない
- ・ 何をしてはいけないかを知ることが大事

- ・ することばかり求められているが、必要なのは「being」
- ・ to be (いること) が受容できて、はじめて to do (ること) ができる
- ・ 非日常の濃密な時間ではなく、日常の「バカな時間」が大切。



行政のさまざまな施策と自立に向けての事例 K2グループコロンブスアカデミー事務局長 田中恭子さん

生きづらさを抱える若者たちは多様

だからこそ、個別のケアが必要。それを実現させるために共同生活の中での支援、就労(就労体験)の場の創出、福祉的支援、家族へのサポート等、様々な支援活動が生まれている。

支援現場のコミュニケーション体験

ナレッジ・リンク理事 宮川美恵子さん

「メラビアンの法則」や「アイ・アクセシング」等コミュニケーションスキルを織り込んだ講演後、ペアになり「ブラインドウォーク」を実施。



相手がどんな情報を必要としているのかを感じ取ることの重要性を体感した。

【プラスワン講座】の開催

講座での出会いを活かし、それぞれの活動報告や連携のための情報交換および今後に向けての学びを目的とした「プラスワン講座」を2月に実施予定。

【若者応援】仲間づくりセミナーの開催

近所付き合いがシンプルになった分、使う「ことば」の数が減っているのではないのでしょうか。頭ではわかっているけど、口に出せない。地域にできることは、若者の話を焦らずゆっくり聴く姿勢だと思います。(担当/田中真由美)

夢コミネットの若者応援セミナーは、参加者同士が友だちをつくることに重点を置き、実施しています。



「磯子から見る富士山とティータイム」

富士山が見える磯子区の名所まで、地元の方の案内でウォーキングします。その後はティータイムで若者同士、自由に話しましょう。お気軽にご参加ください。

◆日時/1月31日(日) 13:00~16:00

◆集合/元気づくり拠点「夢たま」

◆対象/就労・自立を目指す10~30歳代のかた

磯子ビデオフェスティバル

●Web サイトが完成しました!

横浜開港 150 周年イベントとして、磯子の魅力を区内外に発信することを目的に、夢コミネットでは、ビデオ作品づくりや地域の人々のビデオ作品の映像を観ることを通し、普段何気なく暮らしている自分のまちに対する新たな発見や、地域コミュニティ・地域への愛着を深める機会とします。



このたび、上映の力作をもう一度観たいという声があり、インターンシップの学生さん(学校法人情報文化学園 アーツカレッジヨコハマ)が、作品を動画で観ることのできる Web サイトを作成しました。

<http://www.oshitsuke.com/isogovideofes/>
 ※現在は昨年度の作品のみが対象です
 ※動画掲載に関しては作者ご自身となります

●上映会 1月30日(土) 13:30~16:00

杉田劇場 ホールにて 開催

「継続はチカラ成るなり

平成 17 年度に実施した家庭教育学級「お母さんも学びたい、話したい」。当時、子どもが幼稚園まではお母さん同士のつながりはあるが、小学生にあがるとお母さんは孤立してしまう、という声があった。そこで、当事者でもあった夢コミメンバーが企画した。講座終了後、参加者たちと「ZOO」という名前の事後グループをつくり、今も集まっている。子育ての不安、病気の情報、グチャやおしゃべり、夏休みの工場見学や忘年会! 細々でも、続いていることが素晴らしい! 所属している、つながっているという実感が、「ひとりじゃない」って元気になる。

研修 ファシリテーション講座

夢コミネットの事業に、「地域元気づくりコーディネーター育成」があります。これは、地域コーディネーターとしてのスキルを身につけるためものです。21年度の第1回は、吉見江利さん(お茶の水女子大学大学院)を講師に迎え、「ファシリテーション講座」を行いました。

◆参加型学習の特色

- ・学習者中心の学習
- ・「わかること」と「できること」
- ・行動が変わることをつなぐための学習
- ・他者との関わりを通して学ぶ学習

◆大人の学習者のここを大切に

- ・過去の経験や蓄積してきたことがある
- ・わからないことへの恐れがある
- ・自己決定の場面をつくる
- ・時間を守る
- ・気づき、ふりかえりを促す
- ・人権を守る



◆ファシリテーターの役割

- ・参加者の主体性を引き出す
- ・安全で安心な環境
- ・否定・批判されない
- ・参加者自身が課題を見つける
- ・参加者の気づきを大切に

「みなさん、どうしましょうか?」

＝ファシリテーターの黄金の言葉

※講師レジュメより一部抜粋

講師の資料(参考:三輪建二『おとなの学びを育てる』鳳書房、2009年)より



会員募集のご案内

夢コミネットは、会員のみなさんに支えられて運営しています。ぜひ、「夢をかなえるNPO」の会員として、「地域での仲間づくり」活動を応援してください。

◆◆会員募集◆◆

- 正会員/年会費 6,000 円/総会での議決権有、会報誌・メールマガジンの送付、主催講座の割引
- 準会員/年会費 2,000 円/会報誌・メールマガジンの送付
- 賛助会員/年会費 5,000 円(1 口以上) /会の運営を財政的にサポートする個人または団体

◆◆入会方法◆◆

入会を希望される方は、会員種別を明記の上、入会金・年会費の合計金額を下記にお振り込みくださいますようお願い致します。

※郵便振替 口座番号 00290-6-94824 口座名 夢コミネット

※銀行振込 横浜銀行 磯子支店 普通 1323239 口座名 夢コミネット

編集後記

近頃の話題と言ったら、コミュニケーションに関するものが群を抜いて多い。山本繁さんが講座の中で、「雑談のスキル」、雑談が一番難しいと話していた。人との距離感をつかみ、空気を読み、話をすすめていく…。

「寒いね」「ほんと、寒いね～」と何気に返してくれる仲間がいることは、しみじみありがたい。

夢コミ通信ばび vol.13
 発行:2010年1月1日
 NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク
 〒235-0011
 横浜市磯子区丸山 2-10-8(夢たま)
 TEL & FAX 045-750-0675
 e-mail: info@yumecomi.net
 URL: http://www.yumecomi.net/